

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。

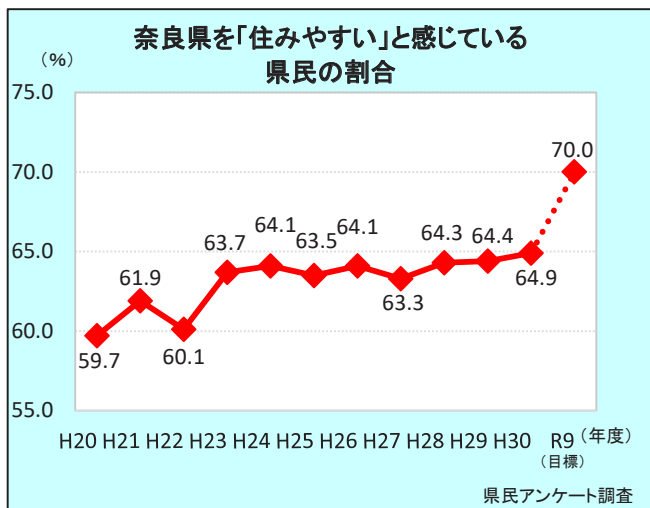
地域性を活かした、にぎわいのある、くらしやすいまちづくり

目指す姿

令和9(2027)年度までに、県民アンケートにおいて、奈良県を「住みやすい」と感じている県民の割合を70%にします。

主担当部局(長)名
まちづくり推進局長 増田 哲司

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

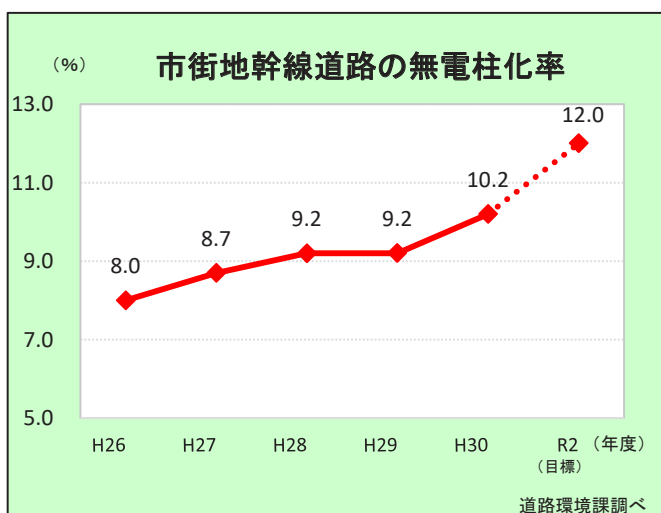


指標	奈良県を「住みやすい」と感じている県民の割合 (%)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	59.7	↑	64.9	50.5%	70
進捗状況	H20 (2008)	5.2 ポイント	H30 (2018)	10/19 年目	R9 (2027)
	平成30年度の奈良県を「住みやすい」と感じている県民の割合は64.9%で、基準値である平成20年度と比べて5.2ポイント増加しました。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略	バリアフリー・ユニバーサルデザインや景観に配慮した空間の創出を推進します。
----	---------------------------------------

主担当課(長)名	県土マネジメント部 企画管理室長 筒井 昭彦
----------	------------------------



指標	市街地幹線道路の無電柱化率 (%)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	8.0	↑	10.2	55.0%	12.0
進捗状況	H26 (2014)	2.2 ポイント	H30 (2018)	4/5 年目	R1 (2019)
	平成30年度は、国道168号等で無電柱化の整備を推進したため、市街地幹線道路の無電柱化率は10.2%となり、平成26年度から2.2ポイント増加して、目標に向かって進捗しています。				

主な成果

奈良県総合医療センター跡地を活用したまちづくりについて、「まちづくり協議会」を開催し(2回)、地元と意見交換を行いながら奈良市によるまちづくり基本構想の検討を推進しました。また、奈良県総合医療センター跡地整備に向けた土壌汚染調査(表層調査)を実施しました。